

伊藤 博文氏 (井関)・畑 啓光氏 (前田)
受賞おめでとうございます

10月12日(水)、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛で開催されました和歌山県社会福祉功労者表彰式で、伊藤博文氏が県知事感謝状を、畑 啓光氏が県社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

両名は民生児童委員として永らく就任され、社会福祉事業への功労と社会福祉の増進に寄与されたことが認められ表彰されたものです。

伊藤氏と畑氏は共に平成10年12月、民生児童委員に就任、伊藤氏は、民生委員就任以来18年にわたり、町内の生活困窮世帯や一人暮らし高齢者等の問題にあたってこられ、平成22年12月からは町民生児童委員会会長として、ご尽力されてきました。

畑氏は町内で過疎化が進む地域の中で、高齢者の生活指導、厚生指導に積極的に取り組み、地域の環境活動やお年寄り家庭への訪問等を率先して行っておられます。



伊藤 博文氏



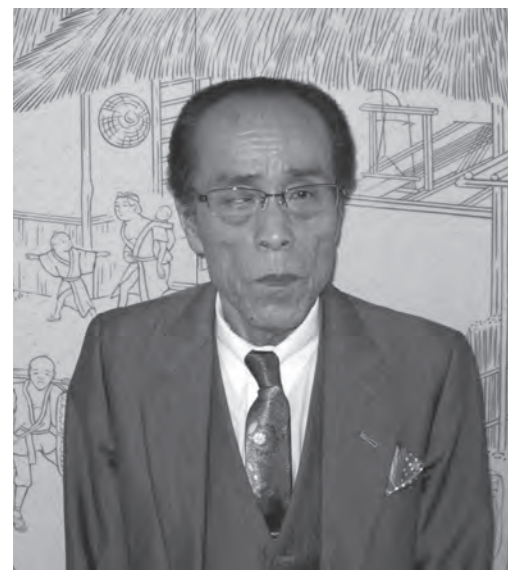
畑 啓光氏

広川町最長寿者訪問
ずっと元気で笑っていてね

9月の第3月曜日は長い間社会に尽くしてきたお年寄りに感謝し、長寿を願う「敬老の日」です。

それに併せて、広川町でも9月29日(木)、に西岡町長が町内の男性最高齢者である森幸次郎さん(99歳)を訪問し、ずっと元気でいてほしいと願いを込めて、長寿を祝う記念品を手渡しました。

記念品を渡すと森さんは笑顔で「ありがとう」と答えてくれ、普段の生活のできごとを笑顔で話し、町長が最後に「また来年きます」と話すと、森さんは笑顔でうなずいていました。森さんの笑顔は本当に素敵で、周囲も笑顔にしてくれます。いつまでも元気な笑顔で広川町を包んでください。



垣端 泉 会長
礎賞を受賞されました

この度、9月18日(日)橋本市産業文化会館で開催されました第59回和歌山県身体障害者福祉大会にて、垣端 泉氏が礎賞を受賞されました。

垣端氏は、平成16年6月から町身体障害者福祉協議会の会長を努められ、平成24年4月から4年間、有田郡身体障害者福祉連盟会長をされるなど、県並び町の障害福祉行政に貢献されました。

また、昨年、和歌山で開催されました全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」では、大会開催に尽力されました。



交通指導員が街頭啓発
広川町の安全を守るために

9月21日(水)から30日(金)は秋の全国交通安全運動期間でした。

それに併せて広川町内でも9月26日(月)に広川町交通指導員が薄暮時街頭啓発を行いました。

指導員は交通事故が起こらないようにと思いをこめ、通りかかる人たちの自転車に反射板を取り付け、ブレーキの点検などを行いました。

また、「暗くなると視界が悪くなるから気を付けて」「ライトは早めに点灯して」と声をかけました。

津波避難訓練が行われました
今年の訓練は夜間訓練

9月17日(土)広川町沿岸部を対象に津波避難訓練が行われました。今回の訓練は夜間に地震が起きたことを想定して、午後7時から行われたもので、サイレンとともに多くの人が各避難所まで避難しました。

避難している人の中には、時間を計りながら逃げる姿も見られました。いつ起こるかわからない地震・津波に対して日頃から準備をしておきましょう。



津木地区寄合会が
星見る会を開催しました

9月10日(土)プライベートリバー津木で和歌山大学の学生たちと津木地区寄合会による合同イベント「星見る会」が行われ、多くの親子連れで賑わいました。

回数を重ねるごとに訪れる人が増えている同イベントでは、楽器演奏やスーパーボールすくい、竹で作った水鉄砲で遊ぶ子どもたちの姿が見られ、訪れた人たちにとって楽しい1日となりました。

